

ゆとろぎ

市民にもっともっと



使いやすい施設にすべき



羽村市議会・3月議会が開会中です。日本共産党羽村市議団は、暮らし・子育て・西口区画整理など様々なテーマで質問をおこなっています。

今回は鈴木たくや議員が先月27日におこなった一般質問から、生涯学習施設「ゆとろぎ」についての内容をお伝えします。

Q1 「部屋の場所がわかりにくくて困る」との声がある。わかりやすい案内板・誘導サインなどが必要では？

A 開館当初は「わかりにくい」との声がありましたが、利用者のご意見をききながら表示や案内サインの改善につとめてきました。現在は「わかりにくい」とのご意見は寄せられておりません。

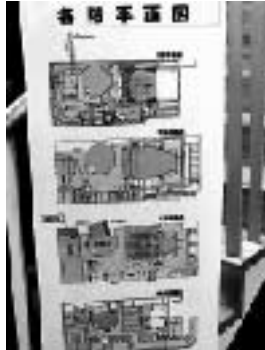
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
教育委員会は、分かりやすく表示を改善したと答弁しました。鈴木議員は実際の案内板をパネルで示し、まだまだ分かりにくいこと、例えば郵便局では窓口へお客さんを誘導するために一所懸命に工夫をしていることなどを示し、さらなる改善を求めました。

教育委員会は改善の検討をすると答弁しました。

@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

羽村民報 2009年3月8日 発行 羽村民報編集委員会 責任者 野崎 東
No.930 電話 579-2132 Fax579-2106

日本共産党羽村市委員会は、羽村市議団の活動について報道しました。



左がゆとろぎの看板。これでわかりやすい？上は郵便局の誘導サイン。

Q2 「足が不自由な人などのために、正面に車止めスペースが必要ではないか」との声がある。設置を検討すべきでは？

A 地下駐車場に障害者用駐車スペースを設け、足が不自由な方にも利用していただくこととしています。

@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
鈴木議員は教育委員会の答弁に対し「それであれば、例えばケガをしている方でも、地下駐車場を使っていいという表示が必要ではないか」と質問しました。

教育委員会は検討することを答弁しました。
また、地下駐車場の入口ゲートが閉まっていることが多いため、とても利用しにくくなっています。運用上のこうした問題なども改善を図っていくよう働きかけていきます。

@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

Q3 「中央の円形屋外ステージがあまり利用されていない」との声がある。どう利用促進をはかるのか？

A この「交流のひろば」はステージではなく、誰もが自由に交流を図れる、中庭ともいえる場所であり、貸館の対象とはしておりません。

@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
鈴木議員は、「交流のひろばでアコースティック・ライブをおこなわせて欲しい」と申し込んだ若者が断られてしまった事例を紹介し、無料のステージとして開放すれば若者が集う良い場所になるのではないかと提案しました。

教育委員会は、交流のひろばは「交流の場」というコンセプトをもたせており、場所を占有するような使い方はしないと繰り返しました。

@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@



「交流のひろば」。施設の特徴でもあるが、有効活用は難しい？

<裏面へ続く>